

電気設備工事特記仕様書

1 工事概要
 1.1 工事名 25循環器・呼吸器病センター治療棟ほか空調設備改修工事
 1.2 施工場所 埼玉県熊谷市板井1996
 1.3 工期 約 日から令和年月日まで
 現場施工期間 令和年月日から令和年月日まで
 現場施工期間は、施設管理者との調整により変更するものとする。

1.4 工事科目（○印の付いたものを適用する）	
○電灯設備	子電リモコン受信設備
○動力設備	電子電波障害防除設備
○熱設備	監視カラーレコード
○雷保護装置	駐車場警報設備
受電設備	防犯・火災警報設備
電力貯蔵設備	自動火災感知設備
発電設備	自動閉鎖装置
構内情報通信網設備	ガス漏れ・火災警報設備
構内交換設備	電話配線設備
情報表示設備	中央監視制御設備
映像・音響設備	医療関係設備
拡声設備（非常放送設備）	昇降機設備
誘導支援、呼出し設備	昇降機用電源設備

1.5 指定部分 ○無・有（工期：令和年月日）

1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）
 請負契約締結の日から、（現場施工所の設置、資機材の搬入又は仮設工事を開始されるまでの）期間・令和年月日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

2 専任期間の終期
 工事完了後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみ残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

3 専任期間の中止
 自然災害の発生又は強化地震調査による指針からの通知により、工事を全面的に一時中止している場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

4.7 建物整備
 治療棟 R.C 構造 地上3層 鋼筋混4.863・53m
 R.I.リニアック棟 R.C 構造 地上1階 鋼筋混7.34・65m

1.8 工事概要
 施設設備改修に伴う電気設備改修工事を行う。

1.9 同時開発注の連携工事 建築工事 機械設備工事

2 工事仕様
 2.1 共通仕様
 (1)この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房土建局監修部会建第2号工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共施設改修工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共施設改修工事標準基準（電気設備工事編）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に依り施工する。

なお、県営住宅の場合は、公共住戸工事標準仕様書等と併用する。

(2)機器設備工事及び建築工事を一起に施工する場合は、その他の別途標準仕様書及び標準仕様書等を適用する。

(3)法規・基準・運営規則等、原則として施工工事において最新のもの適用する。

2.2 特定仕様（特記事項の選択項目は、○印の付いたものがなければ※印を適用し、□印のものは適用しない。
 ○印と□印の付いた場合は、共に適用する。）

項目 特記事項

1 機材等 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、機材名、設置場所等による別途仕様を記載した報告書を監督員に提出する旨を記載するものとする。

2 施工条件 施工時間 年間開業の休日に関する法律（SG3第91号）に定める行政休暇の休日以外。

3 工事用電力・水 上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。

4 工事用被設物 すべて受注者は、負担し、構内につくること ※できる。・できない。

5 足場・さんばし類 指定契約の開闢工事の受注者が定義したものは無償で使用できる。

6 監督員事務所 本工事で、設計する（規模） ※設けない

7 保険 受注者は工事目的及び工事材料について工事完成期日後14日前まで、これを保険会社に提出する場合は、保証の写しを監督員に提出する。

8 再使用機材 取扱い再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定を行い、性能が良好なことを確認した上で取扱する。なお、その測定結果書を監督員に提出する。

9 完成図書の電子納品品 携帯端末による電子納品ガイドライン ※適用する・適用しない

完成図書の電子納品品には、「事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中には主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。

10 発生材処理 引き落しを要するものは荷物に記載し、適切に処理する。

（構内搬出費は、次式算出）

(1)引落しを要するもの（ ）
 (2)買取料を支払うものの（銅管・鉄扉）
 (3)再生資源を回収するもの（蛍光管）

蛍光管等再生資源の施設に搬入し、全てリサイクルするものとする。

(4)特別修理業者業物（ ）

*処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

11 金属電線管の塗装	露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。						
12 鋼	盤等の軽いは、既存盤及び別途施工の事の鍛合の整合を極力図るものとする。						
13 地中電線路	(1)管路等の敷設に伴う敷き均し土、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。 <table border="1"> <tr> <td>敷き均し土</td> <td>種類別</td> </tr> <tr> <td>硬質ビニール電線管(VE)</td> <td>硬質ビニール電線管(VE)</td> </tr> <tr> <td>良質土</td> <td>良質土</td> </tr> </table>	敷き均し土	種類別	硬質ビニール電線管(VE)	硬質ビニール電線管(VE)	良質土	良質土
敷き均し土	種類別						
硬質ビニール電線管(VE)	硬質ビニール電線管(VE)						
良質土	良質土						
14 回路の種別 先行点の表示	(2)地中電線路は、ケーブルを接続する標準シートを設ける。ただし、低圧・地盤回路の標準シートは設置特記による。						
15 電線の接続	(3)地中電線路の敷設は接続式で、埋設深さは地盤表面（舗装する部分では路盤以下）から配管の上端まで削除、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。						

16 電線管の接続
星型におけるケーブルの保護管に用いる薄鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじ止めとし、同様に接続する。

17 接地工事
上記以降の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。

18 建設発生土の処理
星型におけるケーブルの保護管の接続は、防水処置を施したものとする。

19 再生砂・再生砕石
再生エアコン使用

再生砂などは原状を使用しない。ただし、監督員の了解を得た場合に限り、表面層に直接使用する。

再生砂等に先立ち、（購入あたり）1枚体の六角クロム溶出試験を行い土壤の汚染に係る環境支障基準に適合することを確認すること。

設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人建築研究所）を参考する。

なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承認を受けるものとする。

(1)設計用水平震度電力
機器の重量 [kg] に、設計用水平震度を乗じたものとする。

なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。

設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人建築研究所）を参考する。

なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承認を受けるものとする。

(1)設計用水平震度電力
機器の重量 [kg] に、設計用水平震度を乗じたものとする。

以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

設計用標準水平震度		特定の施設		一般的な施設	
設置場所	種類別	重宝機器	一般機器	重要機器	一般機器
上階階	機	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び屋根	防雨排水の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
水槽・槽(類)	機	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機	1.5	1.0	1.0	0.6
水槽・槽(類)	防雨排水の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
地下・1階	機	1.0	0.6	1.0	0.6
底盤支の機器	機	1.0	0.6	1.0	0.6
水槽・槽(類)	機	1.0	0.6	1.0	0.6

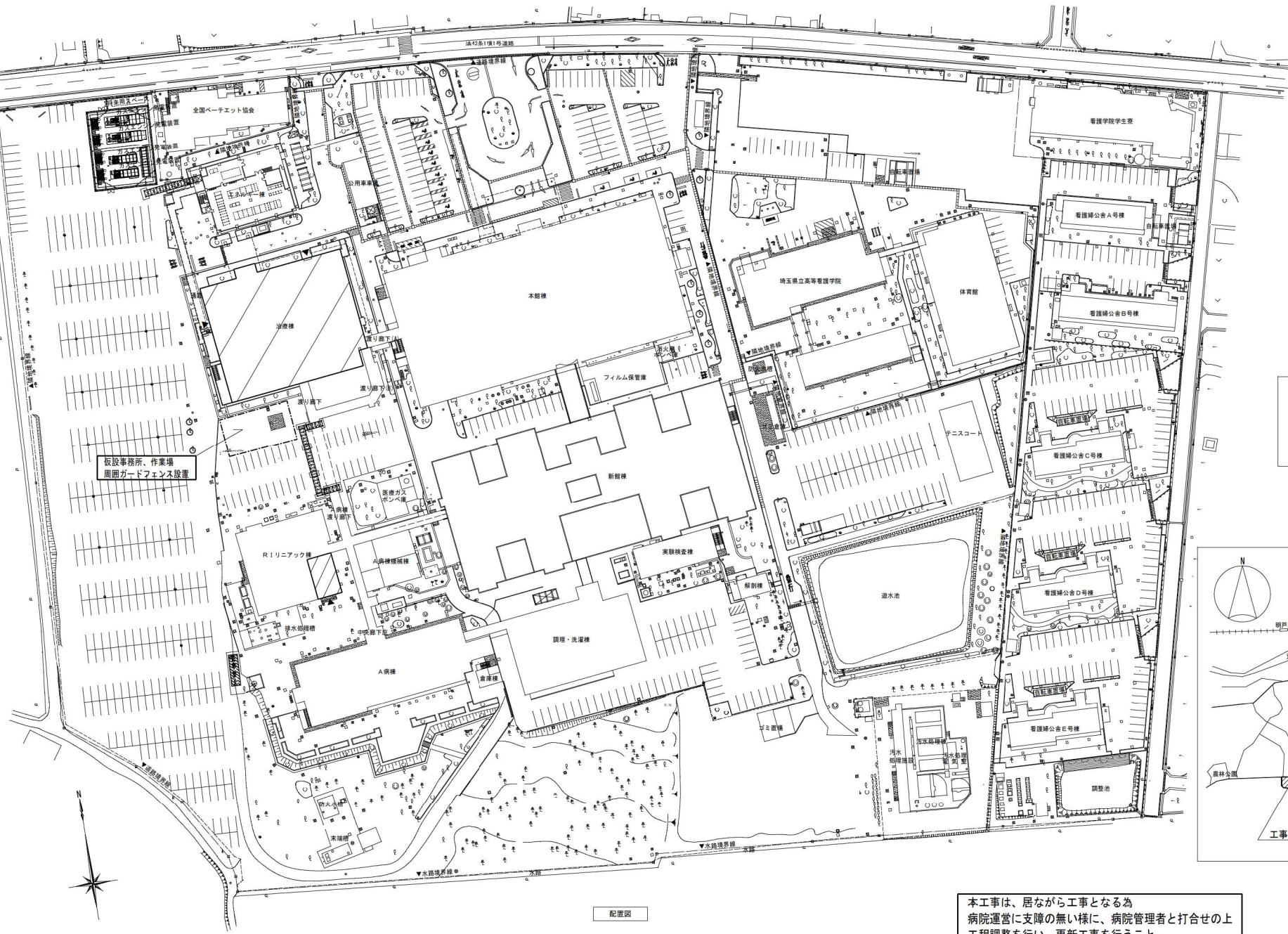
[備考] (※) :機器類には、オイルタンク等を含む。

重要機器は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による説明器具及び防災用器具を含む。

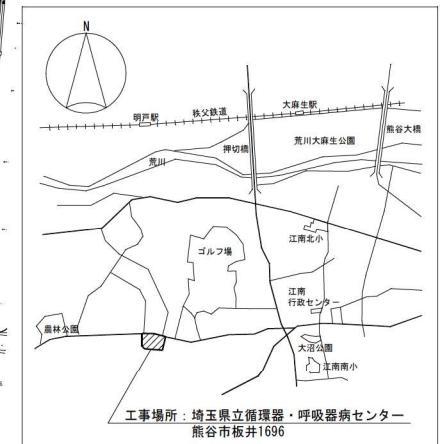
電気機器は、電気装置（消火栓用）、直流水装置・交流無停電電源装置・交換式火災警報装置・火災報知装置等を除く。

機器類は、機器類の運搬・保管等の手順を示す。

環境配慮 (グリーン) 改修工事	<p>1 アスベスト処理工事 一般共通事項</p> <p>留意事項</p> <p>1 本工事は、アスベスト含有の有それのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。</p> <p>2 アスベスト処理を所管する行政庁の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。</p> <p>3 この工事においては、下面及び特に仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官房常務審査監修公共建築改修工事標準仕様書（並び工事編）（令和4年版）（以下「改修仕様」）という、及び「建築物等の構造等に係るアスベスト露防除及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和3年3月 厚生労働省・環境省）による。</p> <p>2 アスベスト含有分析調査</p> <p>分析によるアスベスト含有建材の調査 [9.1.1]</p> <ul style="list-style-type: none"> 行う（下表による） <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 定性分析</td> <td>・定量分析</td> </tr> </tbody> </table> <p>採取箇所 ※ 図示</p> <p>分析対象</p> <p>※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソチル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）</p> <p>調査方法・分析方法</p> <p>※ JIS A 1481 規格群（1481-1, 2, 3, 4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。</p> <p>分析結果については、監督員に提出すること。</p> <p>3 アスベスト粉じん濃度測定</p> <p>アスベスト粉じん濃度測定 [9.1.1]</p> <ul style="list-style-type: none"> 行う（測定名称及び測定点は下表による） <p>測定箇所 ※ 図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>測定名</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所 (各部位別々に)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レバ1</td> <td>レバ2</td> <td>レバ3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定1</td> <td>処理作業室内 ※各2点・各3点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定2</td> <td>施工区画内又は 敷地境界 4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定3</td> <td>処理作業室内 各2点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定4</td> <td>セキコリティーポン入口 各1点 空氣の流れ を確認</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定5</td> <td>負圧・除じん装置の排出口 (施工作業室からの場合) 各1点 粉じん濃度 の性能確認</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定6</td> <td>施工区画内又は 敷地境界 4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定7</td> <td>処理作業室内 各2点 (レバ1は1点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>測定8</td> <td>施工区画内又は 敷地境界 4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定9</td> <td>処理作業室内 (レバ1は1点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>測定10</td> <td>施工区画内又は 敷地境界 4方向各1点</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>アスベスト粉じん濃度測定方法</p> <p>アスベスト・粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の纖維状粒子測定方法 第1部：光学顕微鏡法及び走電子顕微鏡法」の「6.2 相差・分散顕微鏡法」による。</p> <p>測定機関は、都道府県衛生局に登録されている作業環境測定機関とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定 3</th> <th>測定 1,2,4,6,7,8,9,10</th> <th>測定 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計数機器</td> <td>位相差・分散顕微鏡</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダブルジグの直径</td> <td>25 mm</td> <td></td> <td>47 mm</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td> <td>1 l/min</td> <td>5 l/min</td> <td>10 l/min</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>5 min</td> <td>120 min</td> <td>240 min</td> </tr> <tr> <td>試料の明瞭化</td> <td>アセトントリニアセレンジ法又は、シュウ酸ジエチル法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計数条件</td> <td>総アスベスト・纖維数 200 本以上は複数 50 繊維</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計数アスベスト</td> <td>直径(幅) 3 μm 未満、長さ 5 μm 以上、長さと直徑比 3:1 以上の纖維状物質</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>定量限界</td> <td>50 f/l</td> <td>0.5 f/l</td> <td>0.3 f/l</td> </tr> </tbody> </table> <p>報告書の作成（記載する項目）</p> <p>ア 测定結果</p> <p>イ 测定時間</p> <p>ウ 测定位置（測定高さとともに図面上に記載）</p> <p>エ サンプリング条件（サンプリングフィルタ直徑、吸引時間、吸引空気量）</p> <p>オ マウントイング方法</p> <p>カ 顕微鏡観察面積、計数視野数</p> <p>キ 測定時（各測定場所ごとの）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向</p> <p>ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真</p> <p style="text-align: center;">山口 山口</p>	材料名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）	※ 定性分析	・定量分析	※ 定性分析	・定量分析	※ 定性分析	・定量分析	※ 定性分析	・定量分析	場所	測定名	測定時期	測定場所	測定箇所 (各部位別々に)	備考	レバ1	レバ2	レバ3				○	○	・	測定1	処理作業室内 ※各2点・各3点		○	○	・	測定2	施工区画内又は 敷地境界 4方向各1点		・	・	・	測定3	処理作業室内 各2点		○	・	・	測定4	セキコリティーポン入口 各1点 空氣の流れ を確認		○	・	・	測定5	負圧・除じん装置の排出口 (施工作業室からの場合) 各1点 粉じん濃度 の性能確認		○	○	・	測定6	施工区画内又は 敷地境界 4方向各1点		○	○	・	測定7	処理作業室内 各2点 (レバ1は1点)		○	○	・	測定8	施工区画内又は 敷地境界 4方向各1点		・	・	・	測定9	処理作業室内 (レバ1は1点)		・	・	・	測定10	施工区画内又は 敷地境界 4方向各1点			測定 3	測定 1,2,4,6,7,8,9,10	測定 5	計数機器	位相差・分散顕微鏡			ダブルジグの直径	25 mm		47 mm	試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min	試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min	試料の明瞭化	アセトントリニアセレンジ法又は、シュウ酸ジエチル法			計数条件	総アスベスト・纖維数 200 本以上は複数 50 繊維			計数アスベスト	直径(幅) 3 μm 未満、長さ 5 μm 以上、長さと直徑比 3:1 以上の纖維状物質			定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l	<p>4 フルアスベスト含有吹付け材の撤去（レベル1）</p> <p>アスベスト含有吹付け材の除去 ・行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。</p> <p>除去方法及び汚染物質等 物理方法 消密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行なう。 ・セメント固化 処理を行う吹付けアスベストの仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 図示</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>5 フルアスベスト含有保温材等の撤去（レベル2）</p> <p>アスベスト含有保温材等の除去 ・行う 作業上の隔離 ・行う ・行わない 処理を行う保温材等アスベストの仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 図示</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>6 フルアスベスト含有成形板類の撤去（レベル3）</p> <p>1 アスベスト含有成形板の除去 ・行う 処理を行うアスベスト成形板の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名 (製品名)</th> <th>含有するアスベストの種類</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※</td> <td>※ 図示</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 非石綿部での切断による除去 ・行う 処理を行うアスベスト含有物の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>含有するアスベストの種類</th> <th>処 理 を 行 う 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・設置機器ダクト接合部（石綿含有バッキン組込）</td> <td>※ 図示</td> <td>・撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td>・石綿含有保温材付配管</td> <td>※ 図示</td> <td>・撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td>・石綿含有配管フランジバッキン</td> <td>※ 図示</td> <td>・撤去範囲すべて</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・撤去範囲すべて</td> </tr> </tbody> </table> <p>※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれを考慮し、一部レベル2の対応を認めるものとする。</p> <p><参考>石綿使用有無の事前調査フロー</p> <pre> graph TD A["(1) 設計図書による調査 ① 施工年にによる調査 ② 使用建築材料による調査"] --> B["可能性なし"] B --> C["可能性あり・不明"] C --> D["(2) 現場目視による調査 目視調査(被材の確認)"] D --> E["可能性なし"] E --> F["可能性あり・不明"] F --> G["分析を実施しない場合"] F --> H["分析を実施する場合"] G --> I["(3) 分析調査による判定 JIS A 1481-2「建設製品中のアスベスト含有率測定方法」など"] H --> I I --> J["石綿含有0.1%を超えていると判断"] I --> K["石綿含有0.1%以下と判断"] J --> L["石綿使用あり・届出要件確認・届出"] K --> M["石綿使用なし"] </pre>	材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲	※ 図示	・								材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲	※ 図示	・								材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲	※	※ 図示	・	材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲	・設置機器ダクト接合部（石綿含有バッキン組込）	※ 図示	・撤去範囲すべて	・石綿含有保温材付配管	※ 図示	・撤去範囲すべて	・石綿含有配管フランジバッキン	※ 図示	・撤去範囲すべて			・撤去範囲すべて	<p>設計年月日</p> <p>R7. 05</p> <p>地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部</p> <p>本部長 管理幹 主幹 主査 担当 締 尺</p> <p>工事名 称</p> <p>25 循環器・呼吸器病センター 治療棟ほか空調設備改修工事</p> <p>団 名</p> <p>電気設備工事特記仕様書（2）</p> <p>回面番号</p> <p>E-02</p>									
		材料名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）																																																																																																																																																																												
		※ 定性分析	・定量分析																																																																																																																																																																												
※ 定性分析	・定量分析																																																																																																																																																																														
※ 定性分析	・定量分析																																																																																																																																																																														
※ 定性分析	・定量分析																																																																																																																																																																														
場所	測定名	測定時期	測定場所	測定箇所 (各部位別々に)	備考																																																																																																																																																																										
レバ1	レバ2	レバ3																																																																																																																																																																													
○	○	・	測定1	処理作業室内 ※各2点・各3点																																																																																																																																																																											
○	○	・	測定2	施工区画内又は 敷地境界 4方向各1点																																																																																																																																																																											
・	・	・	測定3	処理作業室内 各2点																																																																																																																																																																											
○	・	・	測定4	セキコリティーポン入口 各1点 空氣の流れ を確認																																																																																																																																																																											
○	・	・	測定5	負圧・除じん装置の排出口 (施工作業室からの場合) 各1点 粉じん濃度 の性能確認																																																																																																																																																																											
○	○	・	測定6	施工区画内又は 敷地境界 4方向各1点																																																																																																																																																																											
○	○	・	測定7	処理作業室内 各2点 (レバ1は1点)																																																																																																																																																																											
○	○	・	測定8	施工区画内又は 敷地境界 4方向各1点																																																																																																																																																																											
・	・	・	測定9	処理作業室内 (レバ1は1点)																																																																																																																																																																											
・	・	・	測定10	施工区画内又は 敷地境界 4方向各1点																																																																																																																																																																											
	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8,9,10	測定 5																																																																																																																																																																												
計数機器	位相差・分散顕微鏡																																																																																																																																																																														
ダブルジグの直径	25 mm		47 mm																																																																																																																																																																												
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min																																																																																																																																																																												
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min																																																																																																																																																																												
試料の明瞭化	アセトントリニアセレンジ法又は、シュウ酸ジエチル法																																																																																																																																																																														
計数条件	総アスベスト・纖維数 200 本以上は複数 50 繊維																																																																																																																																																																														
計数アスベスト	直径(幅) 3 μm 未満、長さ 5 μm 以上、長さと直徑比 3:1 以上の纖維状物質																																																																																																																																																																														
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l																																																																																																																																																																												
材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲																																																																																																																																																																													
※ 図示	・																																																																																																																																																																														
材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲																																																																																																																																																																													
※ 図示	・																																																																																																																																																																														
材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲																																																																																																																																																																													
※	※ 図示	・																																																																																																																																																																													
※	※ 図示	・																																																																																																																																																																													
※	※ 図示	・																																																																																																																																																																													
※	※ 図示	・																																																																																																																																																																													
材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲																																																																																																																																																																													
・設置機器ダクト接合部（石綿含有バッキン組込）	※ 図示	・撤去範囲すべて																																																																																																																																																																													
・石綿含有保温材付配管	※ 図示	・撤去範囲すべて																																																																																																																																																																													
・石綿含有配管フランジバッキン	※ 図示	・撤去範囲すべて																																																																																																																																																																													
		・撤去範囲すべて																																																																																																																																																																													



凡例
工事範囲を示す



案内図

本工事は、居ながら工事となる為
病院運営に支障の無い様に、病院管理者と打合せの上
工程調整を行い、更新工事を行うこと。

摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	工事名称	設計図	図面番号
	R07年05月31日		栗木	栗木	佐藤	2.5循環器・呼吸器病センター 治療棟ほか空調設備改修工事	E - 03	

著者 クラフト設備設計
建築設計士 第101-2681M 第一級建築士 第337527号 栗木 重
本社 〒360-0824 埼玉市見附市3番地 TEL 048-521-6300
社名 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-524-1032

図面名 案内・配置図

縮尺 A1 1:600
A3 1:1200

動力分電盤(既存)

P-2A 屋内白立型

AC 3φ200V(変電設備P-3より)

改修前										改修後										
		φ	V	kW		AF	AT	制御	改修概要			φ	V	kW		AF	AT	改修概要		
0	主幹	3	200		ELB3P	400	250	ブレーカ撤去	機器撤去・離線	0	主幹(P-2A-1へ)	3	200	44.92	MDB3P	400	300	ブレーカ更新		
1	BF-1	ブースターファン	3	200	3.70	MDB3P	50	50	Mg内蔵	ブレーカ撤去	1	-	3	200	50	50	ブレーカOFF			
2	EF-3	1Fカーフレンズ室排気ファン	3	200	0.28	MDB3P	50	15	Mg内蔵	ブレーカ撤去	2	EF-3	1Fカーフレンズ室排気ファン	3	200	0.28	ELB3P	50	15	ブレーカ更新
3	ACEF-1	2Fカーフレンズ室排気ファン	3	200	0.28	MDB3P	50	15	Mg内蔵	機器撤去・離線	3	-	3	200	50	15	ブレーカOFF			
4	AC-1	1F更衣室空調機	3	200	2.20	MDB3P	50	20	Mg内蔵	機器撤去・離線	4	-	3	200	50	20	ブレーカOFF			
5	AO-8	2Fカーフレンズ室パッケージ空調機	3	200	27.10	MDB3P	225	150	電源送り	機器撤去・離線	5	-	3	200	50	225	150	ブレーカOFF		
6	AO-10	2F肺機能検査室パッケージ空調機	3	200	14.65	MDB3P	100	100	電源送り	機器撤去・離線	6	-	3	200	50	100	100	ブレーカOFF		
7	AO-11	2F東内視鏡室パッケージ空調機	3	200	4.50	MDB3P	50	20	電源送り	機器撤去・離線	7	-	3	200	50	20	20	ブレーカOFF		
8	AO-12	2F西内視鏡室パッケージ空調機	3	200	4.50	MDB3P	50	20	電源送り	機器撤去・離線	8	-	3	200	50	20	20	ブレーカOFF		
9	自動制御電源		1	200		MDB2P	50	20	電源送り	既存のまま	9	自動制御電源	1	200	50	20	既存のまま			
10	BF-3	ブースターファン	3	200	3.70	MDB3P	50	50	Mg内蔵	機器撤去・離線	10	-	3	200	50	50	50	ブレーカOFF		
11	自動制御電源RS盤		1	200		MDB2P	50	20	電源送り	既存のまま	11	自動制御電源RS盤	1	200	50	20	既存のまま			
12	遠方監視操作電源		1	200		MDB2P	50	15	電源送り	既存のまま	12	遠方監視操作電源	1	200	50	15	既存のまま			
計 60.91										計 45.20										

動力分電盤(新設)

P-2A-1 屋内壁掛型

AC 3φ200V(P-2A主幹二次側より)

		φ	V	kW		AF	AT	制御	
0	分岐	3	200	32.14	MDB3P	225	225	PL付、P-2A-2へ電源送り	
1	PAO-1	1F更衣室パッケージ空調機	3	200	2.20	ELB3P	50	15	電源送り
2	PAO-8	2Fカーフレンズ室パッケージ空調機	3	200	2.20	ELB3P	50	15	電源送り
3	PAO-10	2F肺機能検査室パッケージ空調機	3	200	3.70	ELB3P	50	30	電源送り
4	PAO-11	2F東内視鏡室パッケージ空調機	3	200	2.20	ELB3P	50	15	電源送り
5	PAO-12	2F西内視鏡室パッケージ空調機	3	200	2.20	ELB3P	50	15	電源送り
6	ACEF-1	2Fカーフレンズ室排気ファン	3	200	0.28	ELB3P	50	20	Mg内蔵、PAO-8より連動運転
44.92									

P-2A-2 屋外壁掛型(WP SUS)

AC 3φ200V(P-2A-1より)

		φ	V	kW		AF	AT	制御	
0	主幹							PL付	
1	PAO-1	1F更衣室パッケージ空調機	3	200	6.43	ELB3P	50	50	電源送り
2	PAO-8	2Fカーフレンズ室パッケージ空調機	3	200	6.43	ELB3P	50	50	電源送り
3	PAO-10	2F肺機能検査室パッケージ空調機	3	200	10.86	ELB3P	100	75	電源送り
4	PAO-11	2F東内視鏡室パッケージ空調機	3	200	4.21	ELB3P	50	40	電源送り
5	PAO-12	2F西内視鏡室パッケージ空調機	3	200	4.21	ELB3P	50	40	電源送り
32.14									

動力分電盤(既存)

P-2B 屋内自立型

GAC 3φ200V(麦電設備GP-1より)

P-2B 屋内自立型

AC 3φ 200V(麦電設備P-4より)

動力分電盤(新設)

P-2B-1 屋内壁掛型

A C 3φ 200V(P-2B主幹二次側より)

		ϕ	V	kW		AF	AT	制御
0	分岐	3	200	19.29	MDB3P	225	125	PL付、P-2B-2へ電源送り
1	PAC-3	2F臨床工学パッケージ 空調機	3	200	2.20	ELEB3P	50	15 電源送り
2	PAC-5	1F放射線科パッケージ 空調機	3	200	2.20	ELEB3P	50	15 電源送り
3	PAC-9	2F職員休憩室パッケージ 空調機	3	200	2.20	ELEB3P	50	15 電源送り
4	ACEF-2	2F職員休憩室排気ファン	3	200	0.28	ELEB3P	50	20 M内蔵、PAC-9より連動運転

26.1

P-2B-2 屋外壁掛型(WP SJS)

AC 3φ 200V(P-2B-1より)

		ϕ	V	kW		AF	AT	制御		
0	主幹							PL付		
1	PAO-3	2F臨床工学パッケージ	空調機	3	200	6.43	ELB3P	50	50	電源送り
2	PAC-5	1F放射線科パッケージ	空調機	3	200	6.43	ELB3P	50	50	電源送り
3	PAC-9	2F職員休憩室パッケージ	空調機	3	200	6.43	ELB3P	50	50	電源送り

19 20

動力分電盤(既存)

P-3A 屋内自立型

AC 3φ 200V(変電設備P-5より)

P-R1 屋内自立型

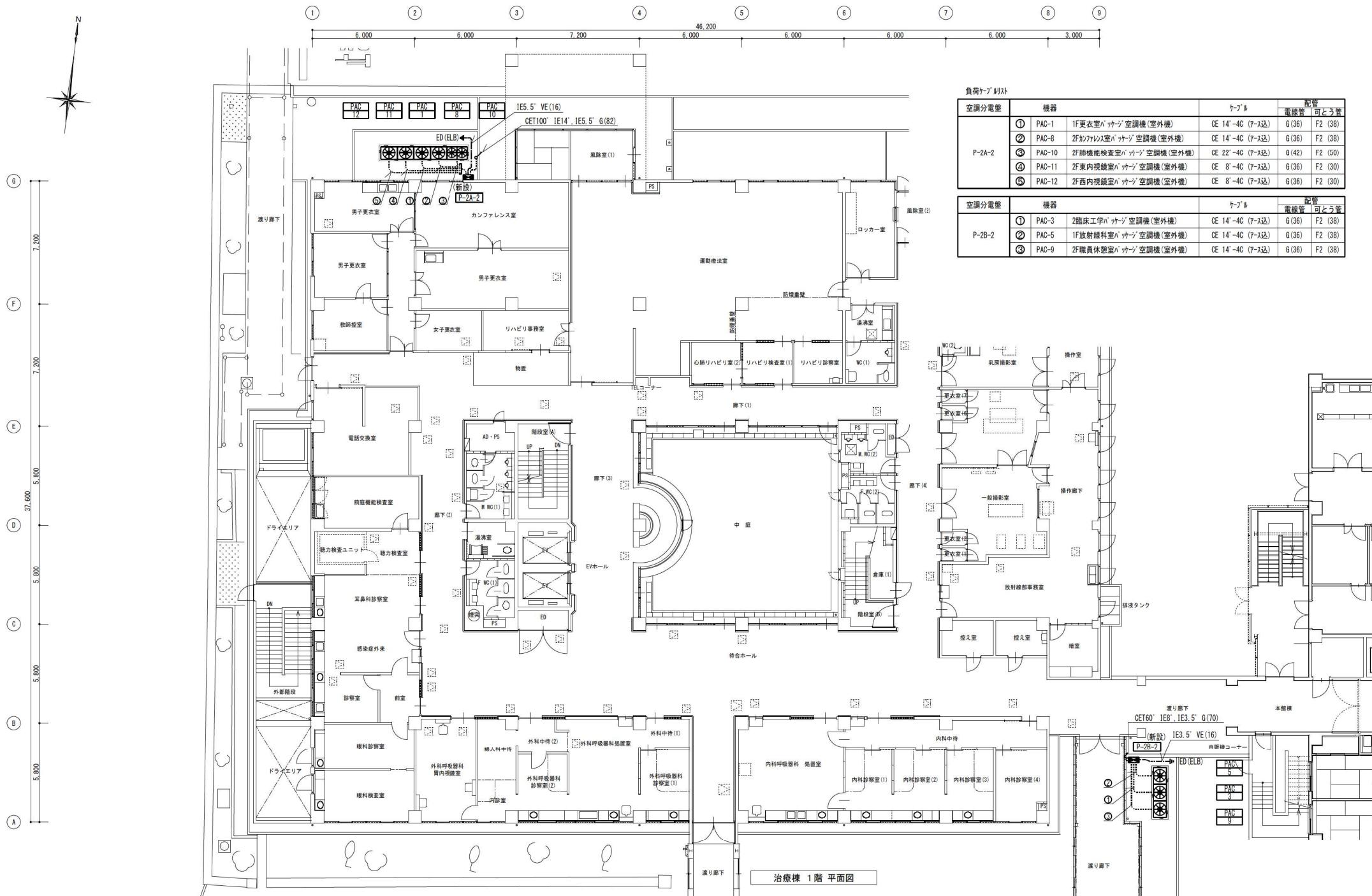
AC 3φ 200V(変電設備P-5より)

PR1 屋内自立型

GA C 3φ 200V(麦電設備G-1より)

改修前								改修後										
		φ	V	kW		AF	AT	制御	改修概要			φ	V	kW		AF	AT	改修概要
0	主幹	3	200							0	主幹	3	200					
1	CT-3 手術室系統冷却塔	3	200	0.50	MCB3P	50	15	Mg内蔵	機器撤去・離線	1		3	200		MCB3P	50	15	ブレーカーOFF
2	自動制御電源	1	200		MCB2P	50	20	電源送り	既存のまま	2	自動制御電源	1	200		MCB2P	50	20	既存のまま
		計 0.50										計 0.00						

N

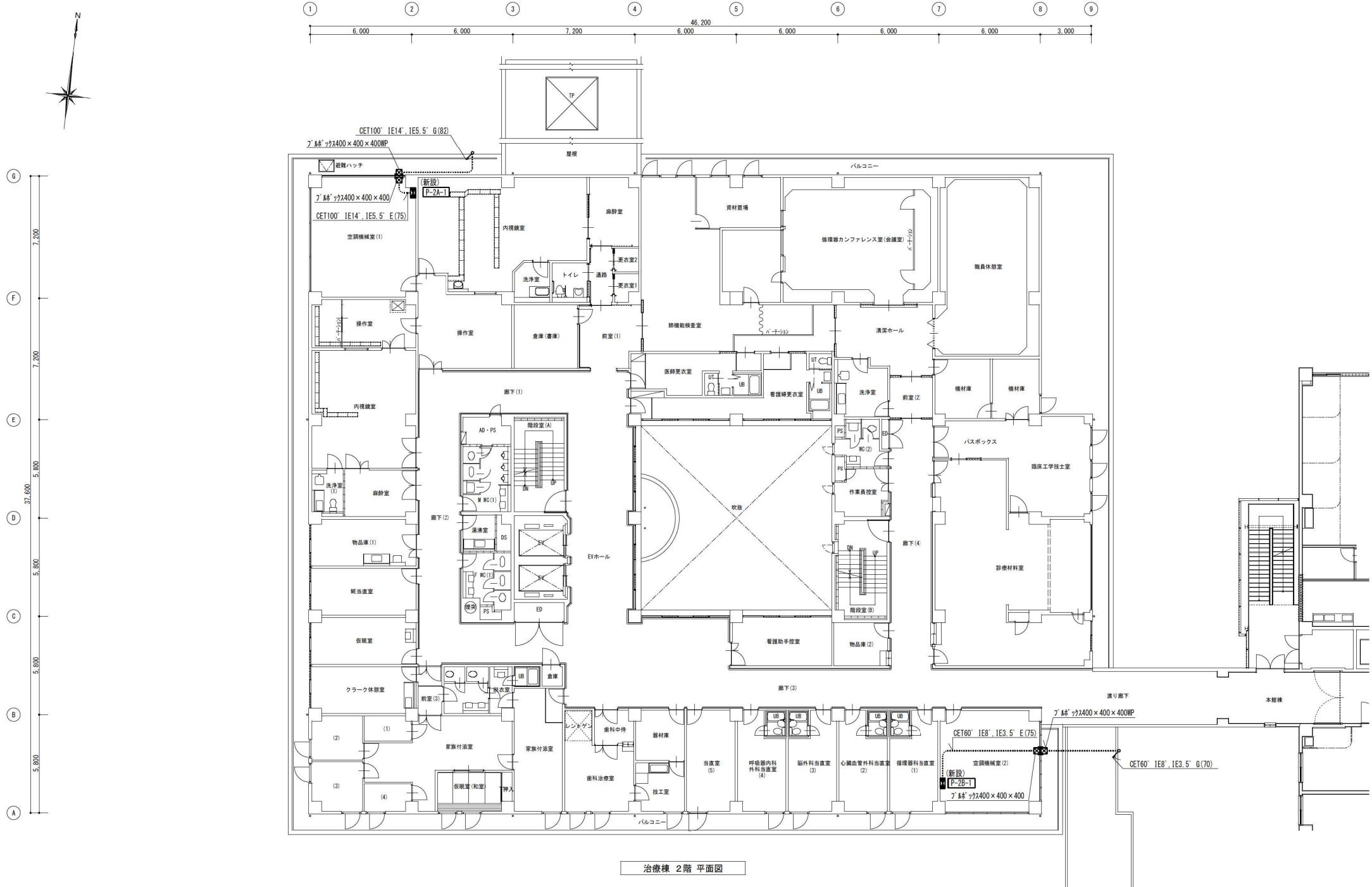


負荷ケーブル別

空調分電盤	機器	ケーブル	配管
P-2A-2	PAC-1 1F更衣室パッケージ 空調機(室外機)	CE 14'-4C (7-入込)	電線管 G(36) F2 (38)
	PAC-8 2Fカルシス室パッケージ 空調機(室外機)	CE 14'-4C (7-入込)	電線管 G(36) F2 (38)
	PAC-10 2F肺機能検査室パッケージ 空調機(室外機)	CE 22'-4C (7-入込)	電線管 G(42) F2 (50)
	PAC-11 2F東内視鏡室パッケージ 空調機(室外機)	CE 8'-4C (7-入込)	電線管 G(36) F2 (30)
	PAC-12 2F西内視鏡室パッケージ 空調機(室外機)	CE 8'-4C (7-入込)	電線管 G(36) F2 (30)

空調分電盤	機器	ケーブル	配管
P-2B-2	PAC-3 2階床工学パッケージ 空調機(室外機)	CE 14'-4C (7-入込)	電線管 G(36) F2 (38)
	PAC-5 1F放射線科室パッケージ 空調機(室外機)	CE 14'-4C (7-入込)	電線管 G(36) F2 (38)
	PAC-9 2F職員休憩室パッケージ 空調機(室外機)	CE 14'-4C (7-入込)	電線管 G(36) F2 (38)

摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製圖	工事名称	設計図	図面番号
	R07年05月31日		栗木	栗木	佐藤	2.5循環器・呼吸器病センター 治療棟ほか空調設備改修工事	E - 07	



摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	有閑 クラフト設備設計	工事名称 25循環器・呼吸器病センター 治療棟ほか空調設備改修工事	設計図	図面番号 E - 08
	R07年05月31日		栗木	栗木	佐藤	大谷	建設業者 第01C1-2681M 建設業者 第337527号 株式会社 本社 〒360-0824 新潟市見附市鶴崎町 電話番号 3-1-5 TEL 027-324-1032	面図名 治療棟 2階 動力設備図	縮尺 A1 1:100 A3 1:200

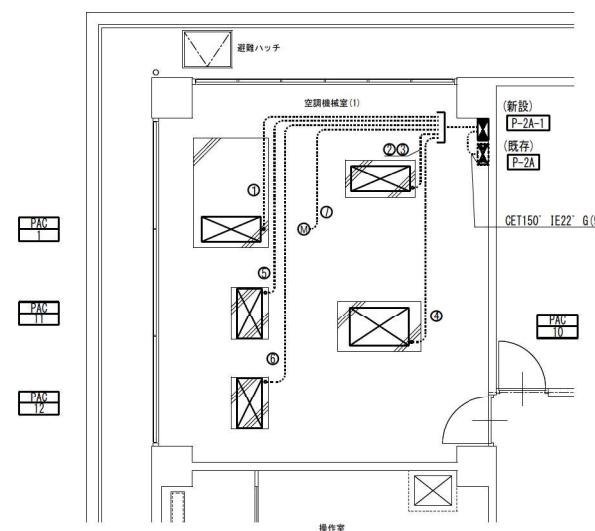
N
←

(1) 6,000 (2)

(7) 6,000 (8)

ACEF
PAC
8

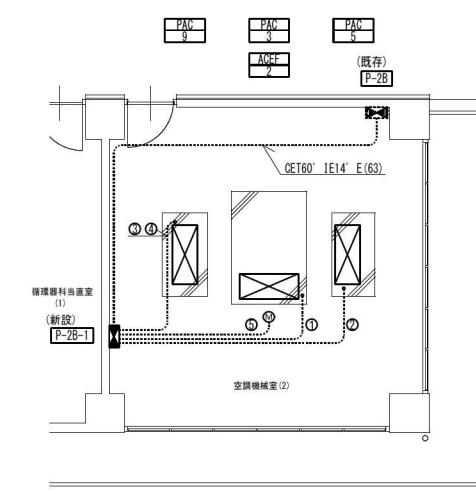
PAC
1
PAC
11
PAC
12



治療棟 2階 空調機械室(1)

負荷ケーブル別表

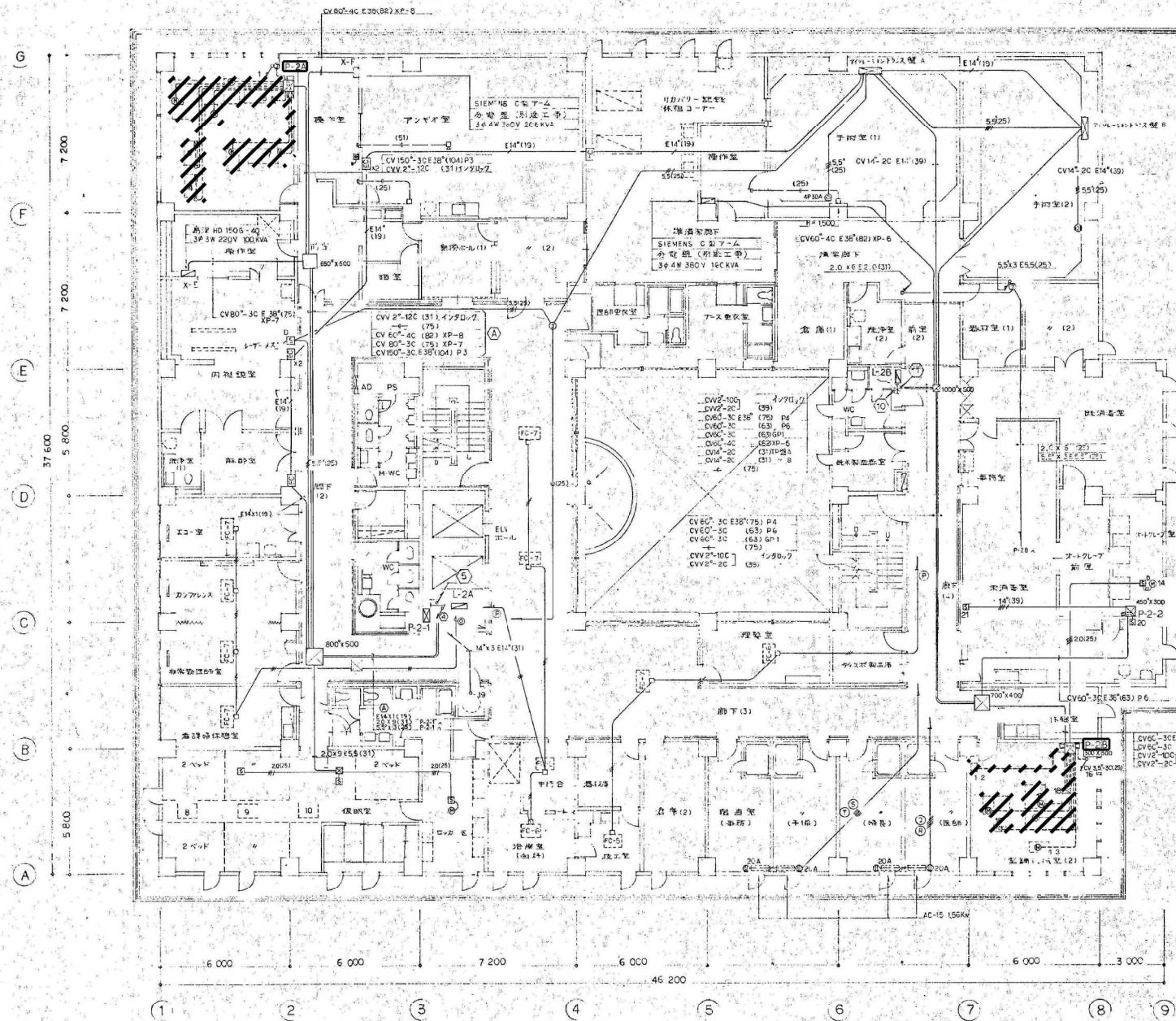
空調分電盤	機器	ケーブル	配管
		電線管	可とう管
① PAC-1	1F更衣室ハ'カ'ジ空調機(室内機)	CE 2'-4C (7-△込)	E(25) F2 (24)
② PAC-8	2Fカソリス室ハ'カ'ジ空調機(室内機)	CE 2'-4C (7-△込)	E(25) F2 (24)
③ PAC-8	同上ACEF-1連動運転信号	CEE 2'-2C	E(25) F2 (24)
④ PAC-10	2F肺機能検査室ハ'カ'ジ空調機(室内機)	CE 3.5'-4C (7-△込)	E(31) F2 (30)
⑤ PAC-11	2F東内視鏡室ハ'カ'ジ空調機(室内機)	CE 2'-4C (7-△込)	E(25) F2 (24)
⑥ PAC-12	2F西内視鏡室ハ'カ'ジ空調機(室内機)	CE 2'-4C (7-△込)	E(25) F2 (24)
⑦ ACEF-1	2Fカソリス室排気扇	CE 2'-4C (7-△込)	E(25) F2 (24)



治療棟 2階 空調機械室(2)

負荷ケーブル別表

空調分電盤	機器	ケーブル	配管
		電線管	可とう管
P-2B-1	① PAC-3 2F臨床工学科ハ'カ'ジ空調機(室内機)	CE 2'-4C (7-△込)	E(25) F2 (24)
② PAC-5 1F放射線科室ハ'カ'ジ空調機(室内機)	CE 2'-4C (7-△込)	E(25) F2 (24)	
③ PAC-9 2F職員休憩室ハ'カ'ジ空調機(室内機)	CE 2'-4C (7-△込)	E(25) F2 (24)	
④ PAC-9 同上ACEF-2連動運転信号	CEE 2'-2C	E(25) F2 (24)	
⑤ ACEF-2 2F職員休憩室排気扇	CE 2'-4C (7-△込)	E(25) F2 (24)	



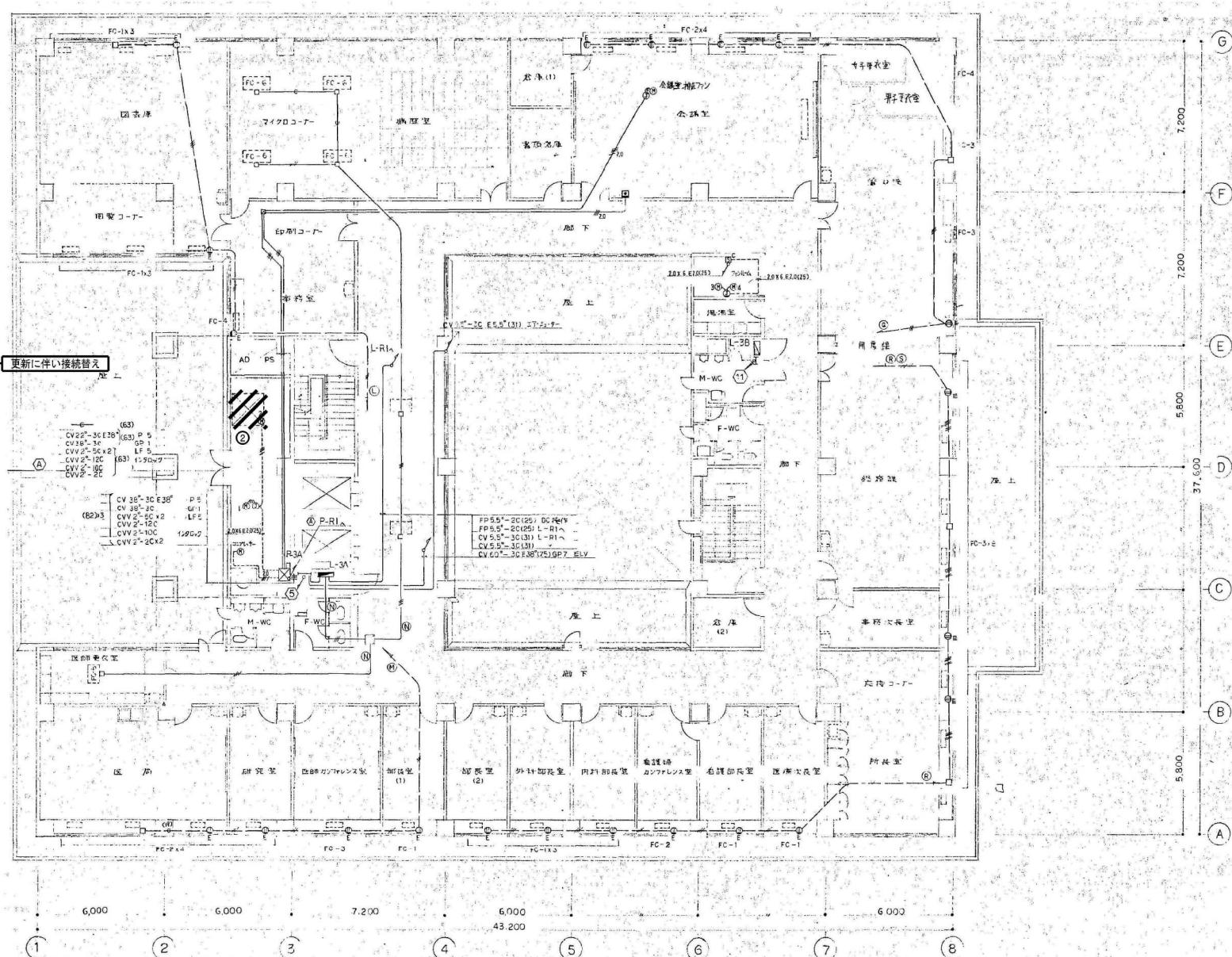
盤名	NO	番号	機器名	容積 (m³)	面寸法・サイズ
P-2-1	1	EF-3	1F 喪害系統排氣ファン	0.28	2.0 x 3 E.2.0 (25)
	2	RF-1	上部排氣系統排氣ファン	0.75	— * *
	3	AC-1	1F 喪害系統 空調機器	2.2	— * *
	4	AC-12	2F 内建機器系統空調機器FAN	0.75	5.5' x 3 E.5.5' (25)
		"	" COMP	3.75	2' x 4 (19)
	5	AC-8	手術室(1)換気扇空調機器FAN	1.5	6.0' x 3 E.2.2" (63)
		"	" COMP	5.5	2' x 2 (19)
		"	" フィルタ	0.1	—
		"	" EC-TA	5 x 4	—
	6	AC-11	2F アメニティ部パッケージ FAN	0.75	5.5' x 3 E.5.5' (25)
		"	" COMP	3.75	2' x 4 (19)
	7	AC-10	異質商下パッケージ FAN	3.7	38" x 3 E.14" (51)
		"	" COMP	5.5	2' x 2 (19)
P-2-1	8	AC-13	2F 仮眠室ヒートポンプヒーティング FAN	0.1	2.0 x 3 E.2.0 (25)
		"	" COMP	1.1	—
		"	" 鋼外FAN	0.2	—
	9	AC-13	2F 仮眠室ヒートポンプヒーティング FAN	0.1	2.0 x 3 E.2.0 (25)
		"	" COMP	1.1	—
	10	AC-14	2F 仮眠室ヒートポンプヒーティング FAN	0.06	2.0 x 3 E.2.0 (25)
		"	" COMP	0.7	—
		"	" 窓外FAN	0.1	—
	11	EF-10	2F ローラー型蒸気除菌装置	0.15	2.0 x 3 E.2.0 (25)
	19	EB-1	2F 仮眠室 浴室換気扇	9.0	36" x 3 E.14" (51)
P-2B	12	RF-1	手術室(2)換気システムファン	0.75	2.0 x 3 E.2.0 (25)
	13	EF-4	1F 系統余剰冷却ファン	1.5	* * *
	14	EF-7	2F オートクレーブ室排氣ファン	0.28	— * *
	15	AG-9	手術室(2)下水処理システムファン	1.5	60" x 3 E.22" (63)
		"	" COMP	5.5	2' x 2 (19)
		"	" フィルタ	0.1	—
		"	" EC-TA	5 x 4	—
		"	" 加湿器	12	14" x 3 E.5.5" (31)
	16	AC-6	1F CT 実験部パッケージ FAN	0.4	2.0 x 3 E.2.0 (25)
		"	" COMP	2.2	2' x 2 (19)
	17	AS-3	2F 中央実験室空調機器	0.2	2.0 x 3 E.2.0 (25)
		"	" COMP	1.5	14" x 3 E.5.5" (31)
	18	AC-5	1F CT 実験部パッケージ FAN	1.5	14" x 3 E.5.5" (31)
		"	" COMP	7.5	2' x 2 (19)
P-2-2		オートクレーブ(12用)	2.2	—	
		"	(24用)	3.7	—
	20	スリッパ洗浄床	0.4	2.0 x 3 E.2.0 (25)	
	21	全自動式超音波洗浄機	23KVA	22" x 2 E.14" (39)	

⑤ FP55-2C D1.
 CV35-3U L1
 CV 6-3C GL1
 CV35-3U P5
 CV55-3C IT56-9M
 CV35-3C GP1
 CV60-3C GP7
 CV22-5x2L5
 CV22-12C " 720V
 CV22-20x2 "
 E6.
 FP55-2C DC 14W

⑪ FP38°-2C D3
 QV60°-3C L3
 CV60°-3C GL2
 E60°
 FF 1.5"-2C DC 4x1P
 FP5.5"-2C
 LCV 60°-3C
 LCV 60°-3C
 E 14"
 FFF 6.5"-2C L-2B 8

本工事にて撤去

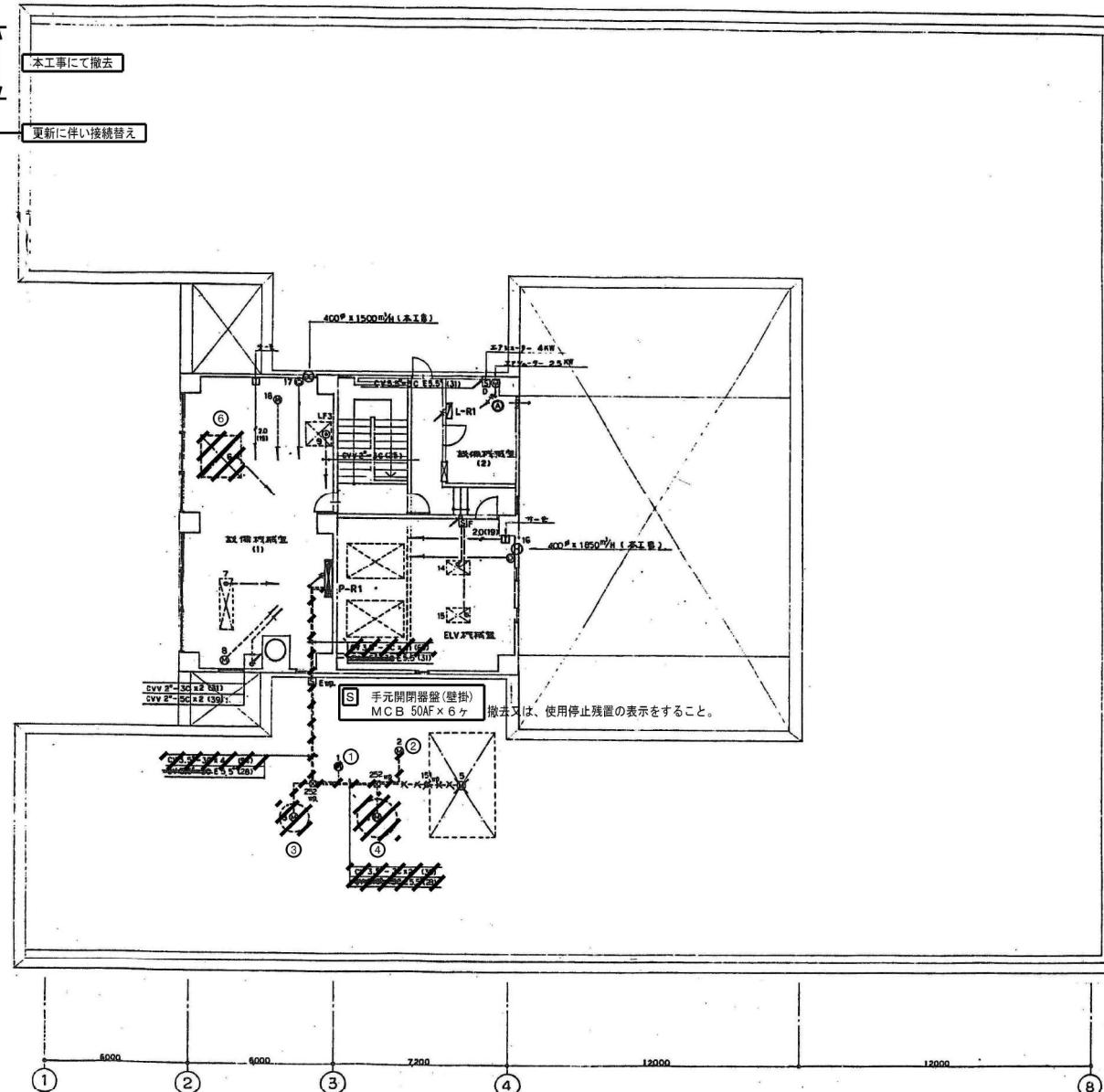
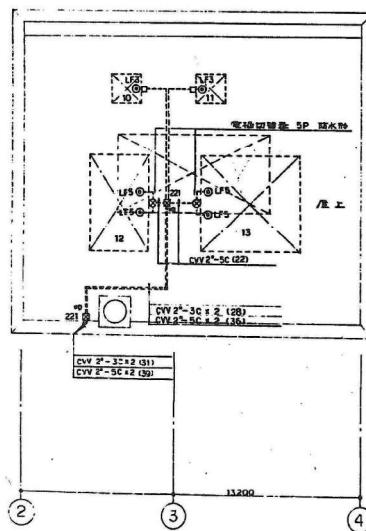
摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	有 限 公 司 クラフト設備設計 建築設備士 第1C1-2681M 令一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 岐阜市見付町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 25循環器・呼吸器病センター 治療棟ほか空調設備改修工事	設計図 E - 10	図面番号
	R07年05月31日		栗木	栗木	佐藤	大谷	図面名 治療棟 2階 動力設備図(既存)	縮尺 A1 : 1:100 A3 : 1:200	



本工事にて撤去

摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	有 限 公 司 クラフト設備設計 建設設備士 第6101-2681M 号 一級建築士 第337527号 黒木 勲 本社 〒360-0824 熊谷市見附町3番地 TEL 04-521-6300 高崎支社 〒370-0862 高崎市片田町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 25循環器・呼吸器病センター 治療棟ほか空調設備改修工事	設計図 図面番号 E - 11
	R07年05月31日		栗木	栗木	佐藤	大谷	治療棟 3階 動力設備図(既存)	縮尺A 1 : 100 A 3 1 : 200

品名	No.	規格	員荷 名称	容量 (kW)	配線 アイズ
P-R1	1	P-2	パワージェネレータ機器ポンプ	2.2	CV 3.5"-3C E2.0 (28)
	2	P-2	*	2.2	*
	3	CT-2	手研磨パワージェネレータ機器ポンプ	0.5	*
	4	CT-3	パワージェネレータ機器冷却塔	0.75	CV 3.5"-3C E2.0 (28)
	5		手研磨パワージェネレータ機器ポンプ	0.5	*
	6	AC-4	管理系統 外調式	3.75	2.0 x 3 E2.0 (25)
	7	HX-1	管理系統 全熱交換器	0.1	2.0 x 3 E2.0 (25)
	8	EF-13	3F 管理系統 HPH 蒸気ポンプ	1.5	*
	9	EXT-1	消防水槽	—	
	10	T-5	消防水槽	CVV 2"-3C (22)	
	11	T-6	消防栓	CVV 2"-3C (22)	
	12	T-7	消防栓	CVV 2"-3C (22)	
	13	T-3	消防栓	CVV 2"-3C (22)	*
	16	V-7	換気扇 (ELV 用)	0.002	2.0 x 3 E2.0 (25)
	17	V-6	換気扇 (ELV 用)	0.002	*
	18	P-4	内蔵式冷却装置 パワージェネ	2.0 x 2 E2.0 (19)	
		ELV	7.5	3B*3 E14* (5)	
	14	ELV	7.5	*	*
	15	ELV	7.5	*	*

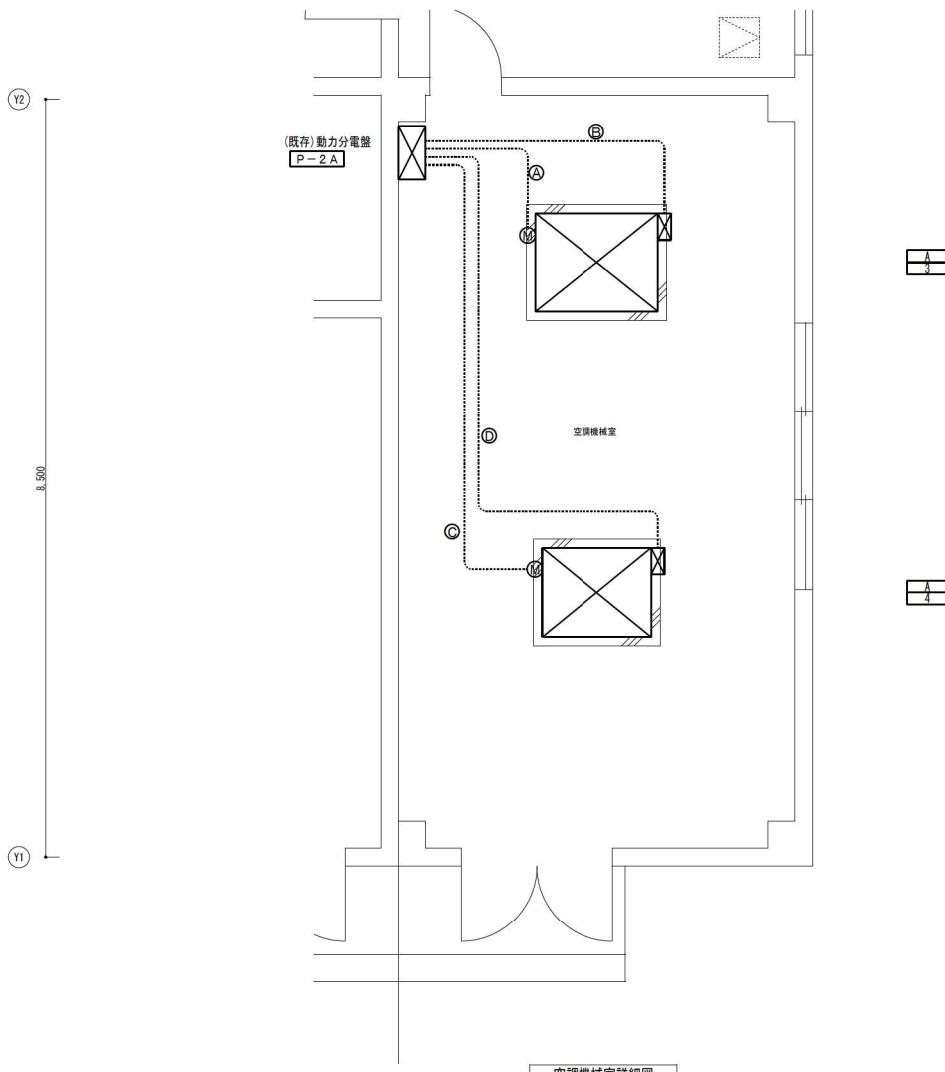


//// 本工事にて撤去

摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	工事名称	設計図	図面番号
	R07年05月31日			栗木	栗木	有段クラフト設備設計	工事名称 2.5循環器・呼吸器病センター 治療棟ほか空調設備改修工事	E - 12



(X6) 4,500 (X7) 1,000



動力分電盤(既設)ケーブルリスト

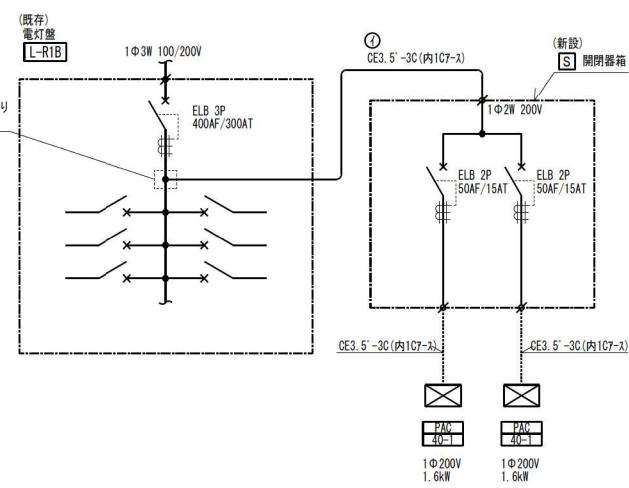
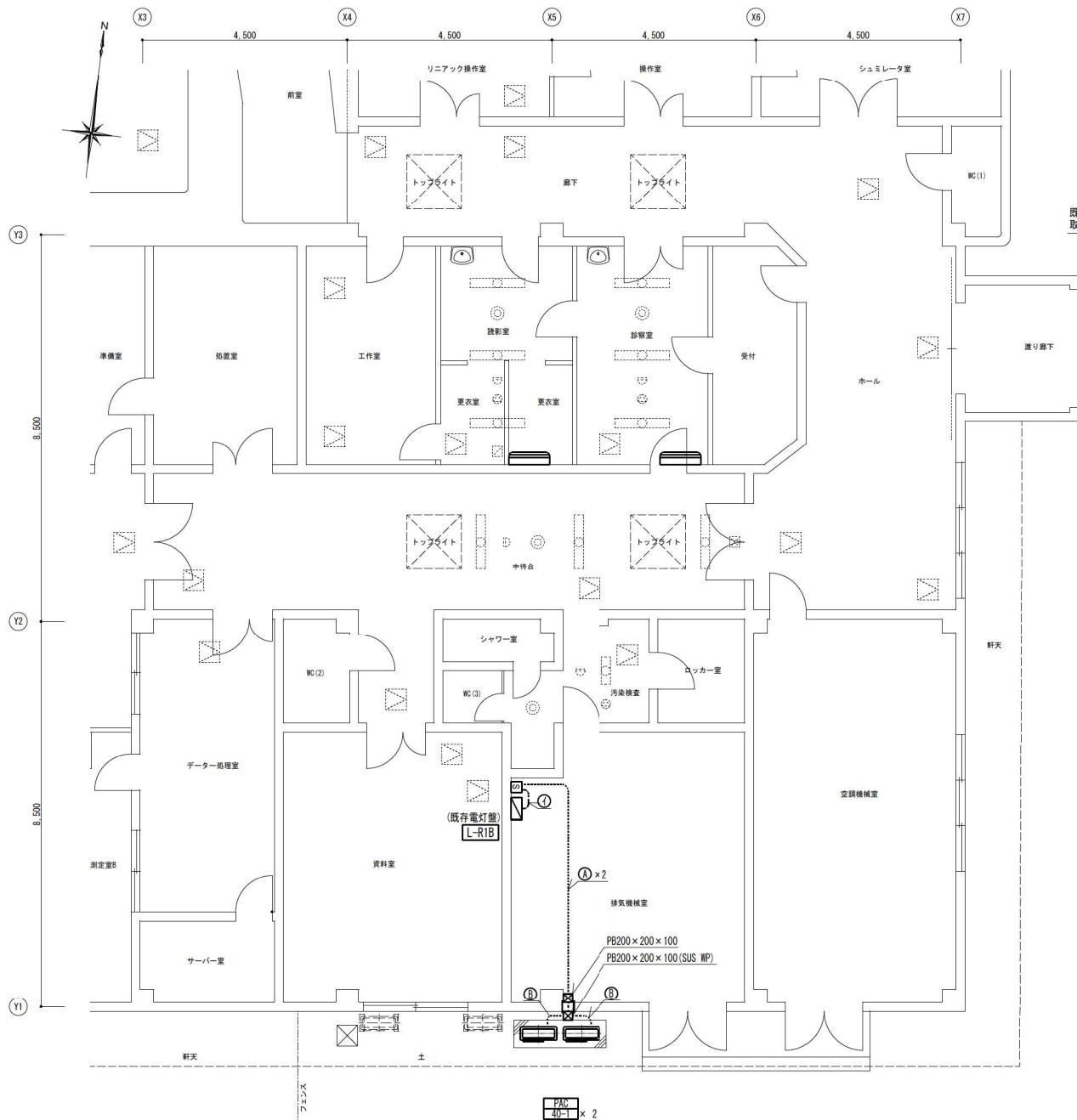
P-2 A

機種	改修前(撤去)				改修後(新設)			
	3φ200V	3.7kW	IV 1.6x3, E1.6	(E25)	3φ200V	3.7kW	CE 3.5'-4C (1本7-ズ)	(E31)、(F2-30)
④ 空調機 A-3	3φ200V	3.7kW	IV 1.6x3, E1.6	(E25)	3φ200V	3.7kW	CE 2'-3C (1本7-ズ)	(E25)、(F2-24)
⑤ 加湿器	3φ200V	0.1kW	IV 1.6x3, E1.6	(E25)	1φ200V	0.092kW	CE 2'-3C (1本7-ズ)	(E25)、(F2-24)
⑥ 空調機 A-4	3φ200V	3.7kW	IV 1.6x3, E1.6	(E25)	3φ200V	3.7kW	CE 3.5'-4C (1本7-ズ)	(E31)、(F2-30)
⑦ 加湿器	3φ200V	0.1kW	IV 1.6x3, E1.6	(E25)	1φ200V	0.092kW	CE 2'-3C (1本7-ズ)	(E25)、(F2-24)

いずれも既存動力分電盤(P-2A)内にて、離線、再接続とする

凡例
 空調機
 加湿器

摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	工事名称	2.5循環器・呼吸器病センター	設計図	図面番号
	R07年05月31日		栗木	栗木	佐藤 大谷	建設構造士 第6101-2681M 第一級建築士 第337527号 栗木 重 本社 〒360-0824 箕谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎支社 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-524-1032	治療棟ほか空調設備改修工事	R Iリニアック棟 1階 空調機械室電気設備詳細図(改修前、後)	E - 13 縮尺 A1 1:30 A3 1:60



配線図

- Ⓐ CE3.5°-3C (内1C7-ス)
- Ⓑ CE3.5°-3C (内1C7-ス) (E25)
- Ⓒ CE3.5°-3C (内1C7-ス) (G28) (F2-24)

The diagram illustrates a wall section with a total thickness of 250 mm. A horizontal line at the bottom represents the base level. Above it, a thick horizontal line indicates the wall's edge. A vertical line extends from the top of the wall down to the base line. A 100 mm wide rectangular cutout is made through the wall, starting from the top edge and ending at the base line. The area above the cutout is labeled "壁貫通" (through-wall) and the area below is labeled "研ぎ" (grinding). The repair is labeled "補修" (repair).

R I リニアック棟 1階 平面図

摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	有 限 公 司 クラフト設備設計 建築設備士 第1G1-1-2681M号 一級建築士第337527号 栗木 嘉 本社 〒360-0324 熊谷市見附新3番地 TEL 048-921-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡3丁目5番地 TEL 027-324-1032	工事名称 25循環器・呼吸器病センター 治療棟ほか空調設備改修工事	設計図 面名 R1)リニアック棟 1階 空調設備(エアコン増設)詳細図2	図面番号 E-14 縮尺 A1 1:50 A3 1:100
	R07年05月31日		栗木	栗木	佐藤	大谷			